

2011年福井県と原子力安全委員会の打ち合わせ等

防災に関する公開質問状

福井県知事 西川一誠様

2013年6月21日

石塚博英安全環境部長（当時）宛に提出した公開質問状に対する回答が、今年4月22日、県庁301会議室にて行われました。提出したのが2012年12月14日であり、4ヶ月以上経ってからの回答に、福井県民の知る権利に対する不誠実な対応であることを伝え、遅れた理由を質しました。部長代理として回答を行った坪川危機対策・防災課長から、「石塚氏が人事の異動により総務部長になったこと」をその理由として説明されましたが、人事異動の前に何度か催促を行っており、理由として納得できません。

今後、このようなことがないように、速やかな対応の約束をお願いします。

4月22日の回答の際、坪川危機対策・防災課長に、石塚氏（当時安全環境部長）が2011年10月12日に省庁に出向き、内閣府原子力安全委員会事務局管理環境課：都築課長、栗原課長補佐他と面談し、「防災指針の現在の議論の進捗状況について」意見交換をされた件について、原子力規制委員会にて公開されているメモをもとに質問しました。

部長が「EPZが拡大されれば、安全協定も広がることになる」と発言したことに対して、どういう意味かと質問しましたが、（部長に）確認しないと答えられないとのことでした。つきましては、上記メモをもとに他の点につきましても疑問がありますので、質問します。

【質問】

1) 同メモにて「複数サイトの考慮も必要だろうが、原子力発電所4か所が同時に発生したら、もの凄いことになる」と部長は発言しておられます。原子力災害が同時に発生することを指していると思われませんが、「もの凄いこと」とは具体的にどういった事態なのでしょう。

福島第一原発事故以後、防災に関して、最低でも福島レベルの事故を想定すべきだと思いますが、いかがお考えでしょうか。また、福島事故をどのように把握されていますか？

2) 原子力安全委員会「防災指針におけるEPZの範囲の考え方について（2011年8月12日）の『防災指針におけるEPZの記載内容（2）』において、地域の選定の範囲は、「EPZのめやすは、原子力施設において十分な安全対策がなされているにもかかわらず、あえて技術的に起こり得ないような事態までを仮定し、十分な余裕を持って原子力施設からの距離を定めたものである。具体的には、施設の安全審査において現実には起こり得ないとされ

る仮想事故等の際の放出量を相当程度上回る放射性物質の量が放出されても、この範囲の外側では屋内退避や避難等の防護措置は必要がないこと等を確認し（後略）」とあります。

部長は、「EPZ の区域に含まれてしまうと地価も下がり風評被害の対象になってしまい、EPZ の区域は危険だろうとされてしまう事を危惧している」と発言しておられます。EPZ の範囲と地価、風評被害との関連は、上記安全委員会の EPZ に関する考え方には出てきません。部長はどのような理由で結びつけたのでしょうか。

3) 4月22日の回答の際、坪川課長に、原子力規制委員会のホームページにて公開されている資料「平成22年から23年にかけてPAZ等に関する防災指針見直しに向けた検討における電気事業連合会へのデータ提供依頼に関する経緯について」の概要と安全委員会と電気事業連合会との打ち合わせメモ等をお渡ししました。

その中の、2010年10月12日「防災指針の見直しについて」という議題で、安全委員会と電事連、東電、関電が打ち合わせしたを記したメモには、安全委員会以外の方（伏字）が「EPZの目安の見直しについては、自治体は交付金が因む（絡むのまちがい？）大きな話」と発言しています。

また、2011年2月3日に、電事連が安全委員会に提出した「国際基準(PAZ,UPZ,EAL,OIL)導入に伴う自治体影響の推定について（別紙参照）」では、EPZについての議論はなされていませんが、PAZ（おおむね5キロ圏内）の導入に関して、「PAZを4～5kmとすると、その中に隣接市町村が入るケースがあり、立地市町村との交付金の格差是正や、使用済み燃料税等の新たな課税議論が惹起される可能性がある」と推定されています。自治体としても、上記のように、防災の範囲に交付金・税などを重ねて考えるのでしょうか。重ねるとしたなら、防災にとってどちらが重要なのでしょうか。重ねないと答えられるとしても、お答えください。

4) 同メモにて、「EPZが拡大されれば、安全協定も広がることになる」と部長は発言しておられますが、どういった意味なのでしょうか。福井県内、県外を問わず、一人でも多くの人命を救うためには、安全協定を拡げることは有効なのではないのでしょうか？

これらは、住民の命と安全に関わる重要な事柄です。真摯にご回答ください。

回答は2週間以内にお願いたします。

反原発福井コラボレーション
若泉 政人